

学校だより

令和7年4月8日



いちよう

目指す学校像

生徒一人一人の力が伸びる学校

新座市立第三中学校

〒352-0015 新座市池田 1-1-1

TEL (048) 479-4052 FAX 482-0133

幸運の女神には前髪しかない

校長 石田 和男

古代ギリシャから伝わる「幸運の女神には前髪しかない」という諺があります。これは、チャンスという意味する古代ギリシャ語を神格化したギリシャ神話の神である「カイロス」の容姿に由来しているといわれています。前髪が長く後ろ髪が無い「カイロス」について、古代ギリシャの詩人が「出会った人が捕まえやすいように髪が前に垂らされている。だが後頭部には髪が無いため、追いかけて行って捕まえることはできない。」と述べたことから、「チャンスは訪れたそのときに掴まなければならない。」という意味で用いられているようです。

この「カイロス」と同名のついた宇宙ロケットを、昨年、日本の民間会社が和歌山県で2度打ち上げました。しかし、1度目はロケットが自ら機体の不具合を検知して飛行中断措置をとり、打ち上げの約5秒後に爆発してしまいました。このことについてこの民間会社の社長は、「機体の破片は全て発射場敷地内に落下し、第三者に損害を与えずにすんだ。安全な飛行中断ができたと言える。」と語っていました。我々には残念な結果に思える爆発も、この社長は成果だととらえていました。その9か月後に2度目の打ち上げをしましたが、またも失敗。社長は、「失敗とは捉えていない。一つ一つの試みの中に新しいデータ、経験があり、次の挑戦への大きな糧とする。」と協調して語っていました。

皆さんは、発明家のエジソンを知っていますよね。エジソンは、それまで数十時間しか点灯させることができなかった白熱電球の耐久性を高めるために、6000種類以上の素材をフィラメントとして試し、1万回以上の実験を重ねました。その実験を通して、「私は失敗したのではない。1万とおりのうまくいかない方法を見つけた。」と語っています。そして、その後、竹を素材にしたフィラメントを用いて1200時間も連続点灯させることに成功したのです。エジソンには、私たちが想像する以上の「探求心とねばり強さ」があったのでしょうか。民間会社の社長にも、今回の失敗を糧に、ロケット開発の成功を期待したいものです。

さて、本日、本校は253名の新入生を迎え、全生徒767名で令和7年度の教育活動をスタートしました。本年度も、様々な教育活動による学びを通して、生徒の限りない可能性を伸ばせるように教職員一同努めてまいります。

本校生徒には、いつ訪れるかわからない幸運の女神の前髪を確実に掴むことができるように、探究心をもって勉強や運動にねばり強く取り組んでほしいと願っています。

新しい中学校生活への夢や希望が満ち溢れた新入生。一つずつ学年が進級した2, 3年生。それぞれの学年の役割に責任を感じ、緊張した中にも意気込みが感じられます。今後、変化の激しい時代をたくましく生き抜くための力を子供たちがつけていけるよう、一人一人の生徒が充実した学校生活を送り、様々な経験を通して大きく成長できるよう、全教職員で取り組んでまいります。本年度も、保護者・地域の皆様の変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

